

三股町景観まちづくり計画

令和2年3月

『「めぐみ」と「くらし」で織りなす みまたん はあと』
みまたの景観まちづくり

本町は、豊かな自然と美しい川や田園、雄大な霧島山が織りなす景色、梶山城跡など貴重な文化財、低層でゆったりとした住宅地など町民に親しまれている多くの風景を有しています。

また、旧薩摩藩領の夏の風物詩である六月灯、盆まつりなどの地域が主体となった行事、ジャンカン馬踊りや棒踊りなどの郷土芸能も継承され、地域の生業や暮らしと一体となって息づいています。

これらすべてによって、本町の景観は形成されています。



市町村合併により自治体の規模が拡大していくなか、本町は自主自立の道を選択し、コンパクトでまとまりあるまちづくりを目指してきました。人口は40年以上も増加してきましたが、これから先、着実に人口減少・超高齢社会の時代が訪れようとしています。

このような中「ひと」の暮らしとともにある本町の景観を今後どのように守り、創出し、活用しながら、次の世代に引き継いでいくのかを町民・事業者の皆さまとともに考え、動き始める契機となるよう「三股町景観まちづくり計画」を策定しました。

昭和23年に町制を施行し、平成30年に70周年を迎え、時代は令和となりました。先人により築かれ引き継がれてきた景観をこれから50年、100年先へと継承し発展させていく景観まちづくりを目指し『「めぐみ」と「くらし」で織りなす みまたん はあと』を基本理念としてテーマに決定しました。

町民・事業者の皆さまと行政が一体となり日々の地域活動から積み上げていくことが景観に配慮したまちづくりの第一歩になると考えております。どうぞ引き続き、ご協力をお願い申し上げます。

現在、中心地ゾーンに交流拠点施設の整備を計画しておりますが、本町の景観を印象づける上でも非常に重要な役割を担っています。景観形成の観点からも先導的な取組を果たせるよう有識者のご意見なども伺いながら整備や維持管理計画を進めていきます。

おわりに、本計画の策定にあたり、ご尽力をいただきました三股町景観計画策定委員会の皆さま、様々なご意見やご提言をいただきました関係者や町民の皆さまに心より感謝を申し上げます。

令和2年3月 三股町長 木佐貫 辰生

三股町景観まちづくり計画 目次

序 章 趣旨

1. 景観とは？	1
2. 景観まちづくり計画として	1
3. 景観まちづくり計画の位置づけ	2
4. 景観まちづくり計画の策定体制	2
5. 景観まちづくり計画の骨格	3

第1章 三股町のまちづくりの現況

1. 上位計画で目指すまちづくりの将来像	4
2. 三股町の概況	7
3. 景観からみる三股町の特性と課題	11

第2章 景観まちづくり計画の区域

第3章 みまたの景観まちづくりのテーマ

第4章 景観まちづくりの方針

1. 景観まちづくりの基本方針	25
2. ゾーンにおける配慮方針	28

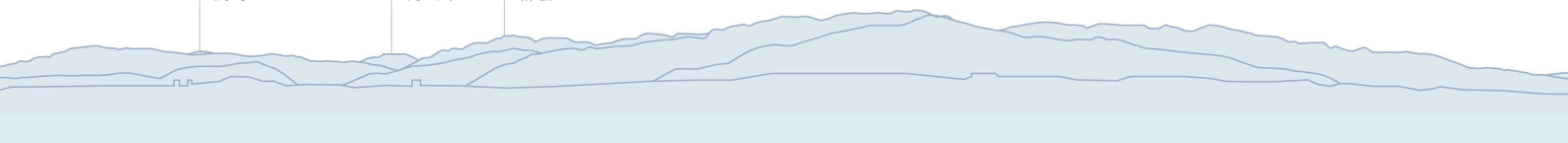
第5章 景観まちづくりのための制限

1. 届出の対象となる行為	30
2. 景観形成基準	32

第6章 景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針

第7章 景観重要公共施設の整備に関する事項

1. 公共施設の整備等に関する基本的な考え方	39
2. 景観重要公共施設の指定方針	39
3. 景観重要公共施設の候補	40
4. 景観重要公共施設の整備等に関する事項	40



第 8 章	屋外広告物の表示等の制限に関する事項	41
第 9 章	景観農業振興地域整備計画の策定に関する基本的事項	44
第 10 章	始める、つづく みまたの景観まちづくりのすすめ方	
1.	まず始めてみましょう 景観まちづくり	45
2.	「なんか、よかよね（いいね）」でつづく 景観まちづくり	48

資料編

資料編-1	ゾーン区分図	49
資料編-2	みまたの景観の特性と課題	50
資料編-3	景観色彩の捉え方	51
	三股町景観色彩基準	55
資料編-4	景観地域ワークショップの紹介	56
	平成 30 年度：梶山地区、長田地区、前目地区	
	令和元年度：小鷺巣地区	
資料編-5	文化財一覧	61
資料編-6	景観まちづくり計画の策定経緯	64
資料編-7	用語集・参考文献一覧	67

